

膠アレ1：ベーチェット病、強直性脊椎炎、血管炎、PMR

日時：7月28日（月） 3時限

担当者：舟久保 ゆう（リウマチ膠原病科）

内容：

1. ベーチェット病について、疫学、主症状、副症状、特殊型ベーチェット、検査所見、診断基準、治療法、予後を説明できる。
2. 強直性脊椎炎について、疫学、臨床症状、検査所見、診断基準、治療法、予後を説明できる。脊椎関節炎の分類、他の疾患と共通する症状と鑑別点について症状、検査所見、画像所見、治療を説明できる。
3. 血管炎症候群について、罹患血管サイズによる各血管炎の分類について説明できる。血管炎の病理組織学的所見について説明できる。血管炎の各疾患について、疫学、臨床症状、検査所見、診断、治療、合併症について説明できる。
4. リウマチ性多発筋痛症について、症状、検査所見、分類基準と診断、鑑別診断、治療、合併症について説明できる。

キーワード：

HLA-B51、口腔内アフタ、結節性紅斑、血栓性静脈炎、外陰部潰瘍、ぶどう膜炎、回盲部潰瘍、シクロスポリン、TNF 阻害薬、脊椎関節炎、炎症性腰背部痛、HLA-B27、仙腸関節炎、付着部炎、bamboo spine、メトトレキサート、IL-17 阻害薬、高安動脈炎、巨細胞性動脈炎、結節性多発動脈炎、ANCA 関連血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎、リウマチ性多発筋痛症

参考書：

◆ 内科学（朝倉書店）

準備：

参考書を読んで予習しておくこと。全ての疾患について授業時間内に講義することは不可能なので、4年生の講義資料を復習すること。必要な時間；60分

膠アレ2：SLE、SSc、PM/DM、MCTD

日時：7月30日（水） 3時限

担当者：秋山 雄次（リウマチ膠原病科）

内容：

小試験と捕捉講義によって各疾患を整理する。小試験は解答は配布する。コアカリキュラム番号：C-3-2、E-4、PS-03-02

1. 全身性エリテマトーデスの臨床症状、病態を理解し診断することができる。治療法が説明できる。
2. 全身性強皮症の臨床症状、病態を理解し診断することができる。治療法が説明できる。
3. 多発性筋炎/皮膚筋炎の臨床症状、診断、治療法が説明できる。
4. 混合性結合組織病の臨床症状、診断、治療法が説明できる。

キーワード：

ループス腎炎、CNS ループス、抗 ds DNA 抗体、抗 Sm 抗体、間質性肺炎、腎クリーゼ、Raynaud 現象、限局皮膚硬化型、びまん皮膚硬化型、抗セントロメア抗体、抗 RNA ポリメラーゼ III 抗体、抗 Scl-70 抗体、抗 ARS 抗体、抗 Jo-1 抗体、抗 U1-RNP 抗体、悪性腫瘍、肺高血圧症、無菌性髄膜炎

準備：

予習：4年生講義資料に目を通す（60分）、授業内容を朝倉内科学第12版で復習し深化させる（III-385~401、30分）

膠アレ3：膠原病総論、アレルギー、自己抗体

日時：8月26日（火） 3時限

担当者：三村 俊英（リウマチ膠原病科）

内容：

ミニ試験および解説を中心にしたこの講義に出席することで

1. 膠原病および膠原病類縁疾患の概念、病態を説明できる "E-4-3)-(1)"
2. 膠原病および膠原病類縁疾患の分類を説明し、それに含まれる疾患を挙げることができる "E-4-3)-(1)"
3. 膠原病及び膠原病類縁疾患において見られる特徴的臨床所見を挙げることができる
4. Coombs&Gell のアレルギーの4型を挙げて、それぞれに関して説明できる
5. アナフィラキシーの機序、症状および治療を説明できる "E-4-3)-(6)"
6. 膠原病において認められる特異的自己抗体を挙げ、説明できる "E-4-1)"

キーワード：

自己免疫、自己抗体、抗核抗体、疾患特異的自己抗体、即時型反応、遅延型反応

参考書：

◆ 内科学（朝倉書店）

準備：

予習：リウマチ膠原病領域の過去の講義資料または教科書などで、知識の再確認をしておく（2時間）。

復習：講義スライドの再確認（30分）。

膠アレ4：RA、Sjogren症候群、IgG4関連疾患

日時：8月28日（木） 1時限

担当者：天野 宏一（総セ リウマチ・膠原病内科）

内容：

この講義に出席することで

1. 関節リウマチ（RA）の疾患概念、診断、治療戦略を理解できる（E-4）
2. リウマトイド血管炎の疾患概念、診断、治療戦略を理解できる（E-4）
3. 抗リウマチ薬の種類とその作用機序、使用上の注意点について説明できる
4. Sjogren症候群の疾患概念、腺外症状を理解できる（E-4）
5. IgG4関連疾患の疾患概念、臓器合併症を理解できる（E-4）

キーワード：

関節リウマチ、リウマトイド血管炎、抗リウマチ薬、生物学的製剤、JAK阻害薬、炎症性サイトカイン、TNF α 、IL-6、Sjogren症候群、IgG4関連疾患

参考書：

◆ 1. 内科学（朝倉書店）第11版（総編集：矢崎義雄）2017年：12-2 関節リウマチ及び類縁疾患（p. 1220～1225、1231～1239）、Sjogren症候群（1246～1250）、IgG4関連疾患（1293～1295） 2. 内科学書 vol.2（中山書店）改訂第9版（総編集：南学正臣）2019年：関節リウマチと悪性関節リウマチ（p. 215～225）、Sjogren症候群（p. 270～275）、IgG4関連疾患（p. 307～313）

準備：

予習：参考書の上記の所定ページをあらかじめ読んでおく（60分） 復習：参考書の所定のページと授業の資料（60分）